



▲11月6日 掛川市役所にて受賞者の皆さんと記念撮影

掛川市地区保護司会だより

第33号

編集・発行
掛川市地区保護司会 広報部
掛川市長谷1丁目1-1
TEL.0537-21-1215
FAX.0537-21-1163

第74回 社会を明るくする運動

作文コンテスト表彰式

毎年、7月は社会を明るくする運動の強調月間。法務省主催による全国統一の活動であり、広報車による市民への声掛け、商業施設でのパンフレット等の配布で、犯罪やいじめ等の無い明るい社会になってほしいとの願いを込めPR活動を実施。

この活動に合わせ、毎年作文コンテストが企画されており。今回は小学生の部635作品、中学生の部321作品が提出され、計24名が表彰されました。

少しずつで良いので社会を明るくする活動に意識を持ち、継続し続ける事が関係者が望む事であり、努力して行く必要があるのではないだろうか。

作品数は毎年増加している一方で、学校別に見ると、取り組みに温度差も見られます。すべての小中学校から作品が提出され、生徒さんの意識が少しずつでも向上して行けば、掛川市が、綺麗で、安全で、安心して生活できる温かい街になるでしょう。

社会を明るくする運動に切れ目はありません。

(犯罪予防部/立石 忠)

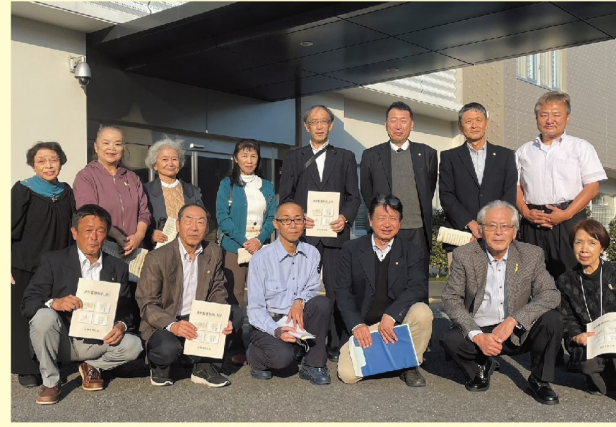
矯正施設視察研修

(東京都あきる野市・山梨県)

令和6年11月12～13日、1泊にて保護司10名、更女会3名で研修会を実施しました。12日は東京西法務少年支援センター(西東京少年鑑別所)で研修。13日はリニア見学センター等への視察でした。

初日、掛川から矯正施設までの道中バスの中では社会を明るくする運動のテーマである犯罪や非行の防止について、自己紹介を兼ね一人ひとり順番でそれぞれの意見を語っていき矯正施設到着まで有意義な意見交換会となりました。あまり話をすることが無い方たちもそれぞれに自分の思いや意見を語り、一気に親近感が増して良い研修が出来たと思います。事故も無く無事終えることが出来て感謝致します。

(研修部/杉山 宏幸)



▲矯正施設前にて記念撮影

令和6年度 第Ⅱ期 地域別研修会

表記研修会を10月17日大須賀支所二階市民交流センターにおいて、保護司21名の参加のもと保護観察所主任保護観察官、奥田るみ氏による研修会が「改正更生保護法と地域援助」をテーマに開催されました。

研修内容は、令和5年12月に刑法の一部が改正されたことに伴い、『息の長い社会復帰支援の推進』や『新たな地域援助という取り組みについて』でした。対象者と長きにわたり接していた保護観察は、満期になった時点で終了でしたが、これからは区切りのない活動となります。

保護司の中でも意見が分かれることだと思いますが、正式に係わりを持つこともできるようになった事が大きな改正点であります。

保護司はボランティア活動であるため、無理のない活動を個々の判断で行っていただくことをお願いしたいと思います。

(研修部/杉山 宏幸)



退任保護司のご挨拶



任期満了

10月31日付け退任
鷲山 博
(上土方地区)

『保護司退任にあたって』

保護司としての12年間、本務の活動のみならず小中学校や地域の諸活動にも参加する機会を得、充実したものでした。ただ後半体調を崩し、皆さんにご迷惑をお掛けすることもあり申し訳なく思っています。

有難うございました。



新 協力雇用主会会長就任



森澤義剛会長

一時、諸事情で不在となっていた『掛川市地区協力雇用主会』の会長を、桜木地区の『榎森沢土建』社長の森澤義剛氏に就任して頂きました。

これからも『保護司会』『更女会』『雇用主会』がまとまって、今以上に掛川市地区の更生保護活動が盛り上がりつついくことでしょう。

森澤会長、宜しくお願い致します。

保護司募集中！

掛川市地区保護司会では新任保護司を募集しています。

保護司はどのような活動をしているか、左の写真にあるパンフレットを作成しました。これをご覧いただければひと目でご理解頂けると思います。

市役所・大東支所・大須賀支所の福祉課に用意してあります。

保護司として一緒に更生保護活動に参加してみませんか。資格は66歳未満の方で、自薦・他薦は問いません。

ホームページもぜひご覧ください。

《連絡先》掛川市役所福祉課
保護司会事務局まで

電話0537(2)1215



編集後記

「インクルーシブ」という単語をときおり目にします。意味は「すべてを含む」。障害の有無や国籍、肌の色、年齢、性別に関係なく認め合い共生できる社会をインクルーシブ社会といいます。このすべての中に過去の犯罪歴が含まれれば理想ではないでしょうか？

私たち保護司が目指しているのはそんな「共生社会」です。え？外来語じゃなく最初から漢字で言え？そうかも！

(広報部/横山忠志)

作文コンテスト受賞者一覧

◎静岡県推進委員会特別賞

【静岡県更生保護女性連盟会長賞】

◇西野 美緒里(第二小学校 6年)

◎推進委員会委員長賞(掛川市長賞)

◇高橋 凜花(第一小学校 6年)

『心の花』

◇西野 美緒里(第二小学校 6年)

『明るい社会って何だろう？』

◇岡田 来春(千浜小学校 6年)

『家族の決め事』

◎保護司会会長賞

◇笹瀬 実子(中央小学校 6年)

『おじいちゃんの思いを未来へ』

◇木下 結月(西山口小学校 6年)

『だじょうぶ』

◇杉山 詩織(西郷小学校 6年)

『一人一人に寄りそつ』

◎更生保護女性会会長賞

◇福田 望音麗(大坂小学校 6年)

『みのないきれいな海が、明るい社会を作る』

◇三ツ谷 穂里(西山口小学校 6年)

『聞いてあげるよその話』

◇原 李愛(第一小学校 6年)

『明るい社会にするための道徳』

◎協力雇用主会会長賞

◇木下 莉花(西郷小学校 6年)

『みんなの力で大きな一歩』

◇宮内 日向汰(桜木小学校 6年)

『人の心をあたたくする 行動と言葉』

◇坂井 穂日(中央小学校 6年)

『いっしゅんにして消え去った 信頼』

◎推進委員会委員長賞(掛川市長賞)

◇岸本 佳穂(城東中学校 3年)

『明るい未来を切り開く』

◇小林 美稀(東中学校 2年)

『あなたの行動一つで』

◇榛葉 真奈(東中学校 2年)

『「犯罪」を減らすには』

◎保護司会会長賞

◇高須 百珈(東中学校 2年)

『うれしい言葉が 前向きな気持ち十割に』

◇岩瀬 思歩(東中学校 2年)

『誰もが特別』

◇越塚 隼(桜が丘中学校 3年)

『顔見知りを超えた関係』

◎更生保護女性会会長賞

◇土橋 姫和(東中学校 2年)

『あいさつのバトンパス』

◇坂部 美桜(東中学校 2年)

『思いやりの心で』

◇土橋 拓真(東中学校 2年)

『僕のふるさは無限大』

◎協力雇用主会会長賞

◇水野 佳緒(東中学校 2年)

『女子バスケット部に入って 学んだこと』

◇佐藤 愛心(桜が丘中学校 2年)

『表現に寄り添うために』

◇村田 琉唯(大須賀中学校 3年)

『人間が人間らしく生きる権利』

(敬称略)



ホゴちゃん

今年5月、大津市で発生した保護司殺害事件の緊急対策で、保護司活動の安全安心対策として、保護観察面接場所を市の公共施設で行える様検討を進めてきました。

具体的には、サポートセンターの中に面談場所を設け夜間や土・日も利用できる新拠点に移設できる様、久保田市長はじめ福祉課水野課長に、静岡保護観察所と保護司会よりお願いし了承して頂きました。

具体的候補地は現在の掛川市つくし会館から、総合福祉センター『あいり』な『東館一階の面談室がある施設の提案を受け、その施設を管理している社会福祉協議会と福祉課及び保護司会で協議しました。その結果、社協と保護司会が利用日時を分けて、両者が共同で使用する案で合意しました。

時期は令和7年度から新サポートセンターとして移設稼働できる様、進めて参ります。詳細な開設日、開設時間は検討中ですが、保護観察の面談が夜間や土・日に利用できる様決めていきます。

一方、大東地区・大須賀地区は市民交流センター会議室が土・日や夜間の利用が可能な為、予約により公共施設での面談が既にできます。

公共施設での保護観察 面談場所確保に向けて

会長 平野 敏雄

保護司会ホームページ開設

この度、掛川市地区保護司会では、新たにホームページを開いたしました。保護司活動は、犯罪や非行をした人たちの更生を支援する重要な役割を担っていますが、その内容は広く知られていないのが現状です。特に若い世代の皆様にも保護司活動について知っていただき、私たちの取り組みを理解していただけるよう、このホームページを通じて積極的に情報発信を行ってまいります。

ホームページでは、保護司活動の具体的な内容や役割、私たちの日々の取り組みをわかりやすく紹介しています。保護司は特別な資格が必要なわけではなく、地域を支えたいという気持ちがあれば誰でも応募することが出来ます。この機会に、少しでも関心を持っていただけたら幸いです。

ホームページをご覧いただき、保護司という役割について理解を深めていただくとともに、次世代の保護司を目指す方々が一人でも多く増えることを願っています。

（ホームページ制作委員会／中山信行）



<https://hogoshi.net/>



令和6年10月23日(水)、東遠学園にて社会貢献活動が行われました。

「社会貢献活動」とは、特別遵守事項で社会貢献活動が義務付けられた対象者の為の活動です。この活動に、保護司会や更生保護女性会、雇用主会の皆さんが協力します。

当日は、対象者の参加はありませんでしたが、保護観察官・更生保護女性会・保護司会とボランティアの方を含め35名の皆さんによる活動となりました。

あいにくの雨で屋内での清掃活動となりました。窓ふき班と体育館整備班とに分かれ約1時間の作業となりました。体育館では、遊具の汚れ落としや網戸張など、不慣れな作業となりましたが、皆さん熱心に取り組んでいました。

終了後、学園長はじめ学園の方々から感謝の言葉を頂き、自分たちの小さな活動が学園の手助けになったことを実感し、清々しい気持ちで皆さん帰路につきました。来年も引き続きこの活動に参加しようと思います。

（広報部／笠原 均）

社会貢献活動への参加



▲会場前での参加者の皆さん

令和6年11月30日(土)、森町文化会館（ミキホール）にて「令和6年静岡県薬物防止県民大会」が開催されました。

大会では挨拶、表彰のあと特別講演として「市販薬のオーバードーズの理解と支援」を助けて「が言えない子どもたち」と題し国立精神・神経医療センター精神保健研究所薬物依存研究部心理社会研究室長の嶋根卓也氏がお話してくださいました。

近年、私たちの生活に身近な医薬品である市販薬の乱用（オーバードーズ）が若者中心に広がっていて、薬物問題を抱えた若者の理解と支援についてどうすべきかスライドを交えわかりやすくご教示くださいました。

掛川市保護司会からは9名が参加しました。今回の大会は、薬物乱用防止についてひとりひとりが考えるよいきっかけになったかと思いました。

（薬物乱用防止指導員部／川口素見）



▲保護司会会長賞 受賞の皆さん



▲推進委員会委員長賞 受賞の皆さん



▲協力雇用主会会長賞 受賞の皆さん



▲更生保護女性会会長賞 受賞の皆さん

令和6年度 静岡県更生保護大会 及び顕彰式典

11月29日、浜松市市民音楽ホールにおいて、更生保護制度施行75周年記念令和6年度 第67回静岡県更生保護大会が開催されました。

本大会では、開会に先立ち浜松市出身のバリトン歌手・ピアノ演奏者による歓迎レセプションが行われた後、第一部顕彰式典において、叙勲・藍綬褒章受章者に対する記念品の贈呈、表彰状及び感謝状の伝達等が行われました。

掛川市地区からも多くの方々々が顕彰され、令和5年秋に瑞宝双光章を受章された大石克己さんも壇上にて記念品が贈呈されました。

第二部講演会では、本県保護司で元刑事の落語家・にか奴亭三助による「防犯落語長屋のオレオレ」が行われました。本大会で顕彰された方々をご紹介します。（敬称略）

（広報部／戸塚静雄）



▲ピアノ演奏者による歓迎レセプション



▲式典参加者の皆様

◎瑞宝双光章（令和5年秋） 大石 克己

◎関東地方保護司連盟会長表彰

安藤 明美

渭原 忍

立石 忠

田中 大介

馬場由香里

◎静岡保護観察所長表彰

戸田 大作

中山 信行

松永 均

◎静岡保護観察所長感謝状

進士 久恵

（更生保護女性会員）

新堀のり子

（ ）

藤田美知子

（ ）

笠原 均

田中 清志

寺田 諭

松澤 茂